

地域で高齢者を支え合うしくみづくりについて

－令和7年度地域ブロンズ会議の主な取組内容－

1 生活を支える「移動・買い物」支援

(1) デマンド型タクシー利用申請登録会及び体験会

高齢者の移動手段の確保を目的に、デマンド型タクシーの利用申請登録会と利用体験会を実施した。(資料①)

(2) 移動スーパーの協力・連携

移動販売を活用し、買い物支援と高齢者の見守り、外出を通じた社会参加の機会創出を図った。地域ブロンズ会議等で販売場所を選定し、周知・声かけを行った結果、令和8年2月から市内114か所(3か所中止・5か所新規)となった。

(3) 買い物ツアーの実施

買い物が難しい方や外出の機会が減っている高齢者を支援するため、移動手段を確保し、参加者が安心して買い物できるように、社会福祉法人のデイサービスの送迎車の空き時間を活用して「買い物ツアー」を実施した。(資料②③)

2 安心・安全を高める「見守り」体制

(1) 安否確認訓練

災害時に優先的な支援が必要な高齢者等について把握を行うとともに、迅速に支援できる体制整備および避難訓練を実施した。

(2) 安心シートの発行

高齢者の見守り体制づくりの一環として、緊急連絡先や避難場所、民生委員の連絡先など、生活に必要な情報を記入できる「安心シート」を作成し配布した。

3 地域で支える「つながり・担い手づくり(協働)」の推進

(1) 高齢者が安心して暮らせる地域について話し合い

地域の高齢者が住み慣れた場所で安心して暮らし続けられるよう、住民同士が見守りや支援に関する情報を持ち寄って共有し、課題や対応策を話し合う意見交換の機会を設け、地域全体で支える体制づくりを進めた。

(2) 交流の場

高齢者の閉じこもりを防ぎ、人とのつながりを広げるため、屋外でラジオ体操や加須転倒無止体操等を実施し、外出のきっかけづくりと交流機会の創出を図った。

(3) フォーラムの開催

市内各地区のブロンズ会議の活動内容を相互に共有し、今後の取組の方向性を考えるとともに、活動上の課題解決につながるヒントを得られるよう、関係者が集うフォーラムを開催した。

(4) 絆サポート事業の普及活動

地域で「ちょこっとおたすけ絆サポーター事業」のサポーターを増やせるよう、住民への声掛けや周知を行い、登録の促進に取り組んだ。併せて、支援を必要とする高齢者宅を訪問し、買物代行や通院時の付き添い、庭の草取りなどの生活支援を実施し、住み慣れた地域で安心して暮らせる体制づくりを進めた。



(資料①)デマンド登録申請会



(資料②)買い物ツアー



(資料③)買い物ツアー